

アグリサポートセンターでは、生産者からの田植えの請負が今年も始まり、作業に励んでいます。

作業受託が最も多いのは、高齢の生産者であり、所有する田植え機の老朽化やメンテナンス費用の軽減のために作業を委託するケースです。現在、アグリサポートセンターで稼働している田植え機は3台。年々、請負作業も増え続けているため、去年よりGPS機能を搭載した田植え機を導入し、精度と効率を上げ、作業に取り組んでいます。

今年の受託作業は4月19日から開始しており、田植え、代掻き、耕耘を合わせて約130件、約31畝の申込みがありました。

北部宮農経済センター東條元宣センター長は「今後、作業員のさらなるスキルアップを図り、委託される生産者の方に満足してもらえる作業を届けたい。」と意気込んでいます。作業は5月26日まで続く予定です。

写真は、GPS機能付き田植え機で受託作業を行うアグリサポートセンター作業員

稲苗出発式

アグリサポートセンターは、4月12日に稲苗出発式を行い、出荷を開始しました。

近年は農業者の高齢化や兼業化で自ら稲苗を育てることが困難になっており、アグリサポートセンターへの予約注文は、年々増加しています。

播種機などの機械化も進み、育苗ハウスの温度管理も充実し、高品質な稲苗を供給しています。

今年のアグリサポートセンターへの予約注文は約9万6千枚。品種ごとの予約注文枚数は「コシヒカリ」が、約5万3千枚、「あきさかり」が約4万枚、「日本晴」が約600枚。特に、「あきさかり」は年々増加しており、今年は約3万800枚増えました。

出発式を行った丸岡博常務は、川内支所の清水正宏さんに稲苗を渡し、「今年は気温が3月下旬に高かったため、育苗には苦労をしたが、その後は順調に管理ができ生育も順調。高品質な苗が出荷できたので、組合員の皆様の増収につながってほしい。」と期待を込めました。稲苗出荷のピークはゴールデンウィーク。

管内の田植えは、4月の川内、不動地区から6月の佐那河内地区まで続きます。



▲写真は、丸岡博常務より稲苗を受け取る清水正宏さん

甘藷 定植作業が盛ん

東部宮農経済センター川内支所管内では、4月上旬から甘藷の植え付け作業が盛んに行われています。

同センター川内甘藷部会の森仁志さんも、4月中旬から、50坪の圃場で甘藷の芋ツルの植え付け作業を始めました。

芋ツルは、ポット苗を2月下旬に定植してハウスで成長させたものを使い、全て手植えで行います。広大な圃場に膨大な数を、芋ツルの形状によって、1本1本深さや向きを微調整しながら植え付けるため、気が遠くなる作業ですが、丁寧に行うことにより、植え付けたツルの根の張りが良くなります。

森さんは、「定植作業は品質を左右する大切な作業。これからも作業の質を維持し、高品質で美味しい『甘姫』を生産し、全国の消費者に食べてもらいたい。」と話されました。作業は毎年6月頃まで続く予定です。

今年度、東部宮農経済センター川内甘藷部会では、132戸が140畝での栽培を計画しており、出荷量は約65万kg（1kg5き）、販売額は9億円を目指します。



▲写真は芋ツルを定植する森さん（4月30日撮影）

宮井小学校 もみ播き体験学習



多良支所青壮年部の瀬畑俊夫さん、福高和宏さん、高曾根督也さんは、4月16日、徳島市立宮井小学校5年生の児童19人を対象に、もみ播き体験学習を実施しました。

体験学習では毎年、もち苗のもみ播きから、田植え、稲刈りの体験学習を行っています。児童は、瀬畑さんたちに教わりながら育苗箱にロックウールマットを敷き、水を吸い込ませ、もみを播き、土をかぶせました。育苗のため、アーチの支柱とシルバシートでトンネルを設営し、もち苗を育てていきます。トンネル設営には、シートが風で飛ばされないように、児童が校内を回って石などの資材集めにも一生懸命でした。



児童は初めての苗作りに興味津々で、夢中になって作業してました。同小学校の教諭は「一つの農作物を作ることに大変な努力が必要であること知り、自然の恵みや、農業に従事する方への感謝の気持ちを学んでほしい」と期待を込めました。5月中旬には同学年が、田植えを行う予定です。

▶写真⑥は、育苗箱にもみをまく児童。

▲写真⑤はシートの設営を見守る児童。

春ブロッコリー出荷開始



管内では春ブロッコリーの出荷が始まりました。

ブロッコリー統一部会丸岡克之部長は1月末に定植したものを、4月17日から出荷しています。

今年は乾燥対策に非常に苦労したことや、収穫時期を分散するため、全部で4種類の品種を定植したそうですが、1月は平年より気温が低く、また3月には、いっきに気温が上昇した影響から収穫時期が重なり、現在作業が多忙ですが、品質は上々だそうです。収穫作業は6月中旬まで続く予定です。

春ブロッコリーは全国的にも年々、栽培面積が拡大している成長品目です

が、丸岡部長は「JA徳島市は随一の産地だと自負している。これからもよりよい品質を維持し、安定供給を守りたい。」と意気込んでいます。



▲写真=春ブロッコリーの収穫を行う丸岡部長

大切にいちごを出荷 車両にステッカーで安全運転の意識を

JA全農とくしま園芸販売課は、3月末に「いちご出荷中」と表記された、生産者が出荷の際に車両に貼りつけるマグネットタイプのステッカーを製作しました。

JA徳島市佐那河内もいちご部会が出荷している「さくらももいちご」は出荷時に生産者全員で検査や仕分け作業を行っているため、出荷前は集出荷場周辺が混み合うことがあり、同部会栗坂政史部会長は、高齢の生産者も多いことから、周りへの注意喚起を含めステッカーの作成をJA全農とくしま担当者に呼びかけたのが製作に至ったきっかけ。

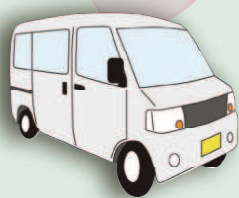
ステッカーは400枚製作されており、順次、県下全域の希望の生産者に配布される予定です。製作費用は、徳島県いちご協議会が負担しています。

デザインは、子どもを自家用車に同乗させるときに貼り付ける、カーステッカーによく似ていますが、果実が輸送中に荷崩れしやすいこ

とから、子どもと同じくらい大切に運んで欲しいという気持ちで製作されました。さらに周囲への理解を図り、安全運転の抑制などに期待しています。

栗坂部会長は、「ドライバーへの注意を促し、村全体の安全運転の意識が高まれば、より嬉しい。」と話されました。

▲写真は集出荷場でステッカーを手にする生産者 東條忠生さん



農産工場加工いちご 作業順調

農産工場で、いちごの加工作業が順調に進んでいます。作業員は、洗浄後のいちごの過熱や変色部分などを全て手作業で除去しています。

3月より洗浄作業の機械が更新され、よりきれいに付着物の除去ができるようになりました。

調整されたいちご14kgにグラニュー糖を混ぜ、一斗缶に詰め、すぐにマイナス23度で冷凍保存し、県外メーカーに向け出荷されています。そして、メーカーで、ジャムなどに加工されています。

今年の加工作業は3月から開始しており、扱うちごは、佐那河内と勝占地区の生産者が出荷したものです。

4月中旬のピーク時には約250kgから300kgの集荷があり、作業は5月中旬まで続く予定です。今年度は、約9.3トンの集荷を見込んでいます。



営農指導兼経済渉外員 辞令交付 進発式 研修会

4月14日、本所にて営農指導兼経済渉外員の辞令交付式を行いました。

今年度は12名の営農指導兼経済渉外員を任命し、進発式・研修会を行いました。

研修会では、出向く営業体制による、ふれあい活動を強化し、組合員及び利用者との信頼関係の構築、また、農家所得増大のために生産コストの抑制につながる提案及び経営指導に尽力できるよう、意識の統一を図りました。

今回の進発式、研修会に参加した北部営農経済センター山田真也渉外員は「今後、より営農指導兼経済渉外員のスキルや渉外活動の内容が求められると思います。進発式で気持ち新たに、1人1人が責任感を持って組合員の皆様に真摯に向き合えるように頑張っていきたいです。」と意気込みを話しました。



金融共済担当者辞令交付 進発式 研修会

4月14日、本所にてブロック渉外トレーナー、金融共済渉外、金融窓口インストラクター、融資渉外の各担当者の辞令交付式、進発式を行いました。

進発式では、渉外担当者を代表して、川内支所の田村圭太LAが「出向く営業体制」を通じてライフイベントに応じた商品・サービスを提供し、組合員・利用者との1人ひとりの関係強化を図ることで、満足度向上に努めます。」と力強く決意表明をしました。

また眉山支所の天野智弘LAの発声に続き「頑張ろう三唱」で一致団結し、士気を高めました。



健康 百科

「新型コロナウイルス：インド変異株について」

徳島往診クリニック 吉田大介

みなさん、こんにちは。徳島往診クリニックの吉田です。先月お話ししました通り、主として英国変異株の影響で「第4波」の到来となり、現在3度目の非常事態宣言が発出されています。緊急事態宣言が出されている関西の3つの府県で4月30日に発表された感染者は、大阪府が1,043人、兵庫県が333人、京都府が126人で合わせて1,502人でした。特に大阪府では東京都を上回る連日1,000人以上の感染者が報告され、重症患者用の病床の運用率が98.3%となり、重症病床で診られない重症の患者68人が中等症の患者用の病床で治療を受けるなど、医療の提供体制は危機的な状況に直面しています。5月1日には大阪府内で新たに1,262人が新型コロナウイルスに感染したことが確認されました。1日に確認された感染者数としては4月28日の1,260人を上回り、過去最多で全く収束の兆しが見えない状況です。

一方、海外ではインドで新型コロナウイルス感染の第2波が急拡大していて、最近の1週間平均では1日約34万人の感染が判明し、約2,600人が死亡。病院のベッドが埋まり、入院できない大勢が路上で酸素吸入を受けている様な状況です。ヒンズー教徒の大規模イベントの影響に加え、インド変異株の感染力の強さが関係した可能性があるとして指摘されていて、世界保健機関（WHO）は4月下旬、インド変異株を「VOI（注目すべき変異株）」に指定しました。警戒対象としては、英国株が指定されている「VOC（懸念すべき変異株）」の一段階下の扱いとなりますが、日本国内でもインド変異株は既に空港検疫で20人、都内では80代女性1人から見つかり、国立感染症研究所がインド変異株を「VOI」に指定しました。

英国株では「N501Y」という変異がありましたが、インド株では「L452R」と「E484Q」という2つの特徴的な変異がみられています。L452R変異は、日本人の6割が持つ白血球の型「HLA（ヒト白血球抗原）-A24」がつくる免疫細胞から逃れる能力があるという実験結果が報告されていて、これは6割の日本人がインド変異株に対して免疫低下の可能性があることを意味しています。また別の実験では、L452R変異が人の細胞とくっつきやすく、そのため感染力が高いことも分かっています。HLA-A24は東アジア人に多く、L452R変異はアジア人の免疫からウイルスが逃れるために発現したとも仮定できると指摘されています。これまで日本国内では実体が特定されていないためファクターXとよばれていた要因のおかげで、欧米ほどの感染爆発が起きなかったと説明されてきましたが、インド変異株によりそのことがもろくも崩れ去る可能性がでてきました。インド国内の報道によると、同国では既にインド変異株が英国変異株を凌駕し、置き換わりが起きたとされています。日本では関西圏で英国変異株による感染再拡大が起き首都圏にも広がっていますが、インド変異株が英国変異株の感染力を上回れば今後国内でも拡大する可能性が大きいと推察されます。そのため、政府は28日、インドからの入国者の水際対策を強化しましたが、現在行われている変異株PCR検査は、英国変異株などが持つ「N501Y」変異しか検出できません。インド変異株を見分けるには、結果判明まで1～2週間かかるゲノム（全遺伝情報）解析が必要とされるため、感染実態を把握するためにも国立感染症研究所はインド変異株を検出できるPCR検査の導入を検討中とのことです。

余ったお米 買い取ります

昨年引き続き、令和2年産米の集荷を実施します。

集荷日時、場所につきましては、

別紙折込みチラシに掲載させていただいておりますので、ご確認ください。

買取単価表（手取り額）【税込】 単位：円

品種	1等	2等	3等
コシヒカリ	4,800	4,650	4,150
あきさかり	4,200	4,050	3,550
ハナエチゼン・キヌヒカリ	4,000	3,850	3,350
その他うるち	4,000	3,850	3,350

代金の精算は、6月中旬頃を予定しています。

農産工場 従業員 募集

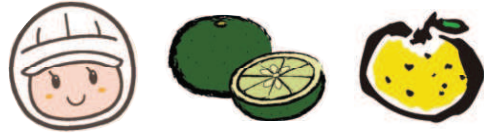
業務内容 農産物選別加工製造業

就業場所 JA徳島市農産工場（佐那河内村下字菅沢184）

就業時間 8:30～17:00の間で相談可

募集人数 若干名

賃金 時給800円



お問い合わせ **088-679-2411**

（受付は月～金曜日の8時半～17時まで）

すだち農作業 アルバイト募集



空いた時間を活用し、
農作業のアルバイトをしませんか？
農作業の経験が無くても

「やる気がある人」「農業に興味のある方」大歓迎！

募集期間 随時募集しています。
（担当者と面談後、農家さんとの相談により決定）

すだちの農作業は8月から9月下旬頃の期間を想定しています。

業務内容 すだちの農作業全般（剪定・収穫・選別・調製・箱詰め等）

就業場所 JA徳島市管内

就業時間 農家さんとの相談により決定します。

休日 農家さんとの相談により決定します。

賃金 農家さんとの相談により決定します。

試用期間もあるので興味のある人は是非ご相談下さい。

お問い合わせ JA徳島市農作業無料職業紹介所
（すだち担当：南部営農経済センター中央集出荷場）
〒771-4267 徳島市波野町浅田10-1

088-645-0568

（受付は月～金曜日の9時～17時まで）

※応募を頂いても、必ず紹介を約束するものではありませんので、ご了承ください。

農地・経営など地区相談を実施します

農業に関する悩みや疑問などについて、農業委員や農地利用最適化推進委員、事務局職員が各地区に出向き、情報提供やアドバイスを行います。

ご相談は無料、予約不要ですので、お気軽にお越しください。

対象者 実施地区に居住する農業者、実施地区で新たに農地を利用したい農業者

- （主な相談内容）
- ・農地の売買・貸し借り
 - ・農地の転用
 - ・遊休農地の活用
 - ・農業者年金 など



※新型コロナウイルス感染症の感染状況により、中止・変更する場合があります。

実施日	地区・時間(場所)			
	9:30～10:30	11:00～12:00	13:30～14:30	15:00～16:00
6/7(月)	多家良地区 (JA多家良支所)	勝占地区 (JA勝占支所)	八万地区 (JA八万支所)	渭東地区 (JA渭東支所)
6/8(火)	加茂地区 (JA徳島支所)	上八万地区 (JA眉山支所)	入田地区 (入田コミセン)	
6/9(水)	川内地区 (JA川内支所)	応神地区 (JA応神支所)	不動地区 (北部営農経済センター2階会議室)	
6/10(木)	国府地区 (JA国府支所)	南井上地区 (JA南井上支所)	北井上地区 (JA北井上支所)	

詳しくはお問い合わせください。徳島市農業委員会事務局（☎088-621-5394）まで

島田清弁護士 無料法律相談

通常通り開催いたしますが新型コロナウイルスの感染状況によりましては開催できない場合がございます。

日時 第3土曜日 9:00～12:00

金融共済部へ事前に予約が必要

申込先 ☎088-622-8003

場所 本所1階金融相談室

賀上延啓 税理士事務所 無料税務相談

下記の通り開催予定ですが、新型コロナウイルスの感染状況によりましては、開催できない場合がございます。

日時 6月15日(火)、22日(火)、29日(火)
9:30～15:00

申込先 総務部へ事前に予約が必要

☎088-622-6335

場所 本所1階ローンセンター

理事会だより(令和3年4月28日)

協議事項

- (1) 第52年度通常総代会の開催について
- (2) 令和2年度税効果会計繰延税金資産の計上について
- (3) 定款（定款附属書 総代選挙規程含む）の一部変更について【総代会提出議案】
- (4) 信用事業規程の一部変更について【総代会提出議案】
- (5) 共済規程の一部変更について【総代会提出議案】
- (6) 借入金の最高限度について
- (7) 貸付金の利率の最高限度について
- (8) 令和3年度の余裕金運用について
- (9) 令和3年度コンプライアンス実践計画について
- (10) 財務・会計規程類の変更について
- (11) 県域物流サービスの対象エリアの改定および固定車両の減車について
- (12) 第53年度事業計画について
- (13) 本所西側駐車場の取得について
- (14) その他

報告事項

- (1) 令和2年度のみり監査法人による期末監査Ⅱ（財務諸表）の実施について
- (2) 反社会的勢力との取引排除および疑わしい取引の届出等組織犯罪等の防止にかかる対応状況について
- (3) 令和2年度内部統制システム運用状況報告について
- (4) 苦情等の受付対応実績報告について
- (5) 事務リスク管理規程に基づく事務ミス等の発生状況と自主検査の結果および改善状況について
- (6) 令和2年度コンプライアンス実践計画の取組結果報告について
- (7) 職員給与規程 第24条別表の変更について
- (8) 債権回収について
- (9) 令和2年度余裕金運用状況報告等について
- (10) 営農・経済事業の成長・効率化プログラムについて
- (11) 前回総務・営農経済委員会および金融共済委員会の協議内容について
- (12) その他